

大型研究計画への惑星科学会の対応

現状の準備状況の聞き取り

- 6月26日ヒアリング
 - 惑星探査コンソーシアム
 - 戦略的火星探査
- 7月14日 10:00-11:30 学会員向けの説明会1
 - (1) 学術会議における提案の評価と審査状況 (田近)
 - (2) 学会間・機関間の連携 (倉本, 関, 竝木)
 - (3) 6/26ヒアリングの報告 (関, 竝木)
- 7月30日 10:00-11:00 学会員向けの説明会2 (中村, 中本, 竝木, 荒川)
 - 学会のとりまとめ方針
 - 今後の予定

2022年初めの公募開始に向けて新提案の取り込み

- 8月2-27日 公募
- 9月1日 9:00- (最長12:00まで) 提案者による趣旨説明会 (将来構想検討作業部会)
- 9月中旬 (学会期間中, または前後) 取りまとめ1次案提示 (将来構想検討作業部会)
- 10-11月 学会内外との調整 (会長・副会長(TBD))
- 12月 学術会議ヒアリング (提案者)
- 2-3月 学術会議の募集に応募

とりまとめ



- 前回提案(戦略的火星探査, 惑星科学コンソーシアム)と新規提案をflatに評価する
- 提案の条件: 計画として成熟していること
学術会議の評価基準を元に判断する
検討段階の提案は「来る10年」へ
- 将来構想検討作業部会(惑星科学会運営委員会において承認済み)
 - 部会長 荒川政彦(将来計画専門委員会)
中村昭子(会長), 中本泰史(副会長), 倉本圭, 玄田英典, 田中智
- 評価よりも統合を

提案書式

雛形: <https://www.wakusei.jp/for-member/>



■ A4で2ページ以内

1. 計画タイトル
2. 問い合わせ先(代表者名と連絡先)
3. 計画概要: **学術会議での評価基準1)~9)について言及すること**

1)計画の学術的意義(国際性や国際連携についても観点に含める)

2)科学者コミュニティの合意(コミュニティの拡がり及び合意のレベルも観点に含める)

3)計画の実施主体の明確性(合意のレベルについても観点に含める)

4)計画の妥当性(装置等の開発・制作・設置だけでなく、運用計画とその後の計画, それぞれに必要な期間や予算措置についても含める)

5)共同利用体制の充実度

6)社会的価値(国民の理解, 知的価値, 経済的・産業的価値, SDGsへの貢献等)

7)大型研究計画としての適否

8)成熟度

9)我が国としての戦略性, 緊急性

- 提出先: 将来構想検討作業部会
fcwg@wakusei.jp

惑星科学会内の合意形成は進行中なので記載は不要。他の学会やコミュニティとの連携について説明を。

8)と9)は重点化項目リストとしての評価項目なので, 現時点では重視しない。